

燃料ブレンダーFBシリーズ

本体



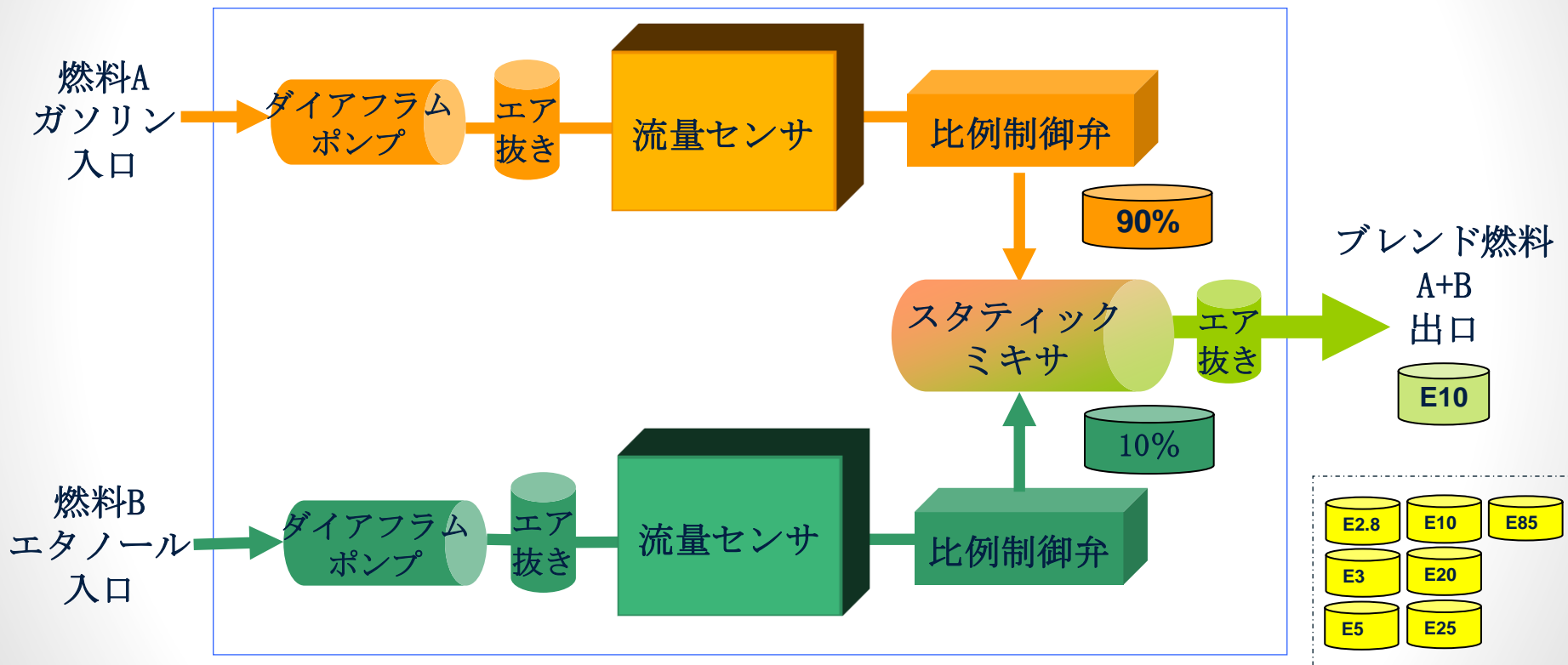
コントローラ



バイオ燃料車の実験
オクタン価の実験
特殊燃料の試験
排ガス有害性の確認

燃料ブレнда本体

実験中に任意の比率 (0~100%) でリアルタイム混合



バイオ燃料実験へ強力なツール

Quality: 実験品質の向上



混合比率0~100%設定
高精度0.5% 劣化の心配なし

Cost: 実験コストの低減



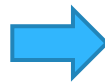
設備導入費・燃料費の低減
アルコール酒税の削減

Delivery: 開発期間の短縮



混合燃料の入荷を待たずに即試験
試験変更に対応

Safety: 高い安全性の確保



混合作業不要
防爆環境での使用可能

Cost: 実験コストの低減

1.設備導入費用の低減

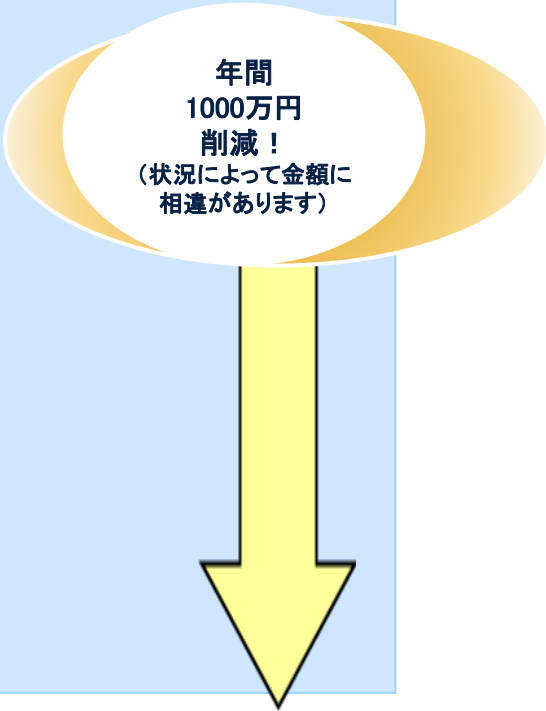
- ・既存のテストベンチにも設置可能
- ・ブレンダー1台で様々な試験に対応
- ・可搬式でベンチ間での移動も可能

2.燃料費用の低減

- ・各国向けなど複数種類の燃料の購入不要
- ・余剰燃料の保管場所不要
- ・変質燃料や余剰燃料の廃棄の大幅削減

3.アルコール酒税相当金額の削減

- ・ドラム缶200Lで198,000円の酒税相当の削減



年間
100万円
削減！
(状況によって金額に
相違があります)

Cost: 設備導入費用の低減 レイアウト①

既設のベンチで簡単にバイオガソリン車実験を実現！



Cost: 設備導入費用の低減 レイアウト②

ガソリン、エタノール、特殊燃料を容器での供給が可能！



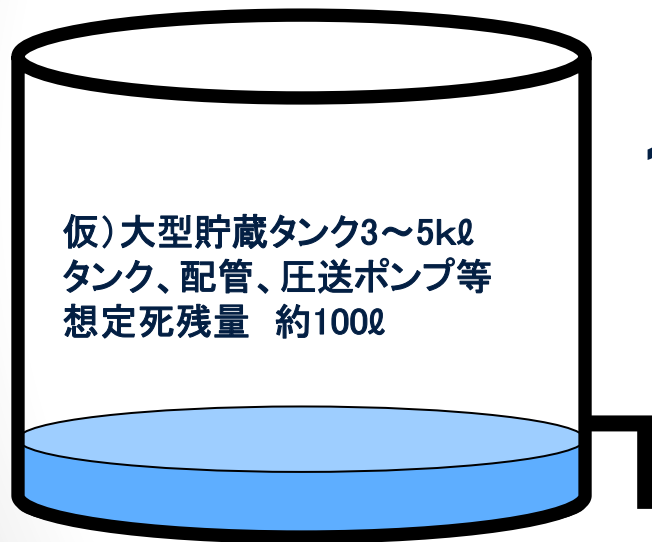
Cost: 設備導入費用の低減 レイアウト③

耐久試験でも活躍！



Cost: 燃料費の低減 余剰燃料低減

貯蔵タンクで使用



約100ℓ

1000:5



燃料ブレンダー



500ml以下

Cost: アルコール酒税金額相当額の削減

燃料用エタノール=発酵アルコール99度1級

特定アルコール=アルコール代+加算 (酒税当)

一般アルコール=アルコール代

アルコール免税

届出

揮発油混合用として
ブレンドの比率と使用量
使用設備(能力と構造)
使用の実績等



関東経済産業局



200リットラム缶で**198,000円**減税

加算額(酒税相当額)99度の場合 関東経済産業局資料より

ありがとうございました。